はじめての
しつもん読書会
開催マニュアル

【オンライン養成講座スクール向け】

マツダミヒロ
ひらおたけし

はじめに

・このマニュアルは、しつもん読書会をスムーズに開催できるよう、
主に開催チャートを見ながら進行できるように作成しました。
もし、それだけでは不安な場合、当日の進行用台本もありますので、
台本の通りに進めていけば、確実に進行できます。
・しつもん読書会は、誰でも気軽に参加ができて、
くり返し開催することで、さらに奥の深い読書会となります。
・読書好きな方だけではなく、読書が嫌いな方にもおすすめです。
・ひとりでも多くの方々へ、しつもん読書会が広まっていければ、
とてもうれしく思います。

※ここに掲載されている内容についてのお問い合わせは、
以下にてお問い合わせ願います。
魔法の質問事務局
mail：staff@mihiro.jp
※このマニュアルの無断にての転載は一切禁じます。

目　次

しつもん読書会を開催するにあたって……1
○しつもん読書会とは？……1
○開催当日の進行について……2
しつもん読書会の開催チャート……3
○しつもん読書会開催前……3
○しつもん読書会当日　前半パート……4
○しつもん読書会当日　後半パート……6
○しつもん読書会開催終了後……7
しつもん読書会　進行用台本……8

しつもん読書会を開催するにあたって

○しつもん読書会とは？

・１冊の本を「しつもん」を通して読み解く、全く新しい読書会です。
　本を読む前に４つの質問に答え、本を読んだ後に４つの質問に答えるだけで、
　その本のエッセンスを短い時間で吸収することができるメソッドです。
　※このメソッドを「しつもん読書会メソッド」と呼んでいます。
・使用する本は、どんな本（マンガ本や絵本等）でも開催できます。
・１冊の本ではなく、複数の本（持ち寄り）で開催することも可能です。
　まずは１冊の本で開催することをオススメします。

◯開催当日の進行について

・しつもん読書会開催時には、ワークシートが必要となります。
しつもんマルシェサイト（「しつもんマルシェ」で検索）にて、
「しつもん読書会 事前ワークシート」「しつもん読書会 ワークシート」
をダウンロードし、印刷してください。
しつもんマルシェ：https://mahoqsheet.com/
※ダウンロードするには事前登録（無料）が必要となります。

・基本的に、読書会ワークにはファシリテーターは参加しません。
ただし、少人数（１～３人）程度の場合は、
ファシリテーターが牽引する形で入る方が有効です。

・万が一、開催日に参加者が０人の場合は、
次に気持ちを切り替えることを心がけてください。

しつもん読書会の開催チャート

○しつもん読書会開催前

facebook（以下、FB）グループの参加
［FB グループ］しつもん読書会ファシリテーター
https://www.facebook.com/groups/qbookfacili/
［FB グループ］しつもん読書会参加者
https://www.facebook.com/groups/shitsumonreadingcircle/
※FB グループが入れない場合、事務局までお問い合わせ願います。

日程と会場の準備

開催告知をする（周りに呼びかける）
※専用サイトでの開催告知も可能（事前登録必要）です。
［専用サイト］しつもん読書会
http://shitsumon-dokusyokai.com/

事前ワークシート、読書会ワークシートの準備
［ファイル］しつもん読書会事前ワークシート＆しつもん読書会ワークシート
しつもんマルシェ：https://mahoqsheet.com/
※ダウンロードには事前登録（無料）が必要です。

○しつもん読書会当日　前半パート

挨拶とファシリテーターの自己紹介

しつもん読書会とは？を伝える

読書会事前ワークシート、読書会ワークシートの確認

読書会事前ワークシートの進め方を伝える

しつもん読書会の３つのルールを伝える
・どんな答えも正解
・答えが出なくても正解
・答えは全て受け止める

読書会事前ワークシート１の質問を読み上げる
１の質問：「本を読み終わっていた時にどうなっていたいですか？」

１の質問を書いてある下の空欄に答えを書いてもらう

１の質問の答えを参加者が順番に伝え合う
（ここで参加者の名前を一緒に伝えてもいい）

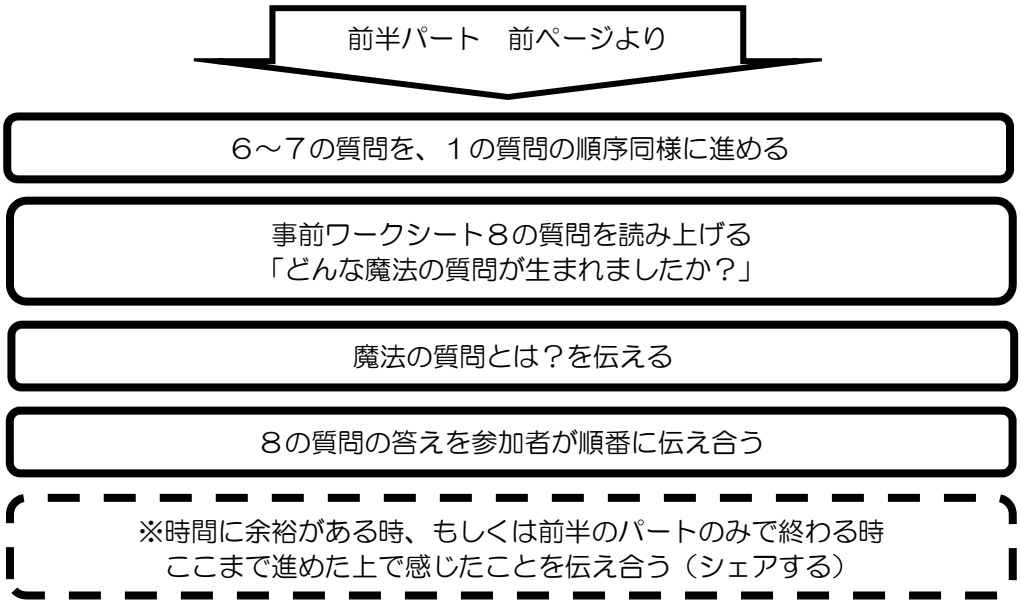
１～４の質問でこの流れをくり返す

１～４の質問を、上記１の質問の順序同様に進める
1.質問を読み上げる
2.空欄に答えを書いてもらう（１分程度）
3.質問の答えを参加者が順番に伝える

読書タイム（３～５分程度）
・パラパラめくりながら読む
・本を読む前の質問を意識しながら読む
・その中で気になったキーワードを５の質問の答えに書く

５の質問の答えを参加者が順番に伝え合う

前半パート　次ページへ


前半パート　前ページより
６～７の質問を、１の質問の順序同様に進める
事前ワークシート８の質問を読み上げる
「どんな魔法の質問が生まれましたか？」
魔法の質問とは？を伝える
８の質問の答えを参加者が順番に伝え合う
※時間に余裕がある時、もしくは前半のパートのみで終わる時
ここまで進めた上で感じたことを伝え合う（シェアする）

○しつもん読書会当日　後半パート

読書会ワークシートを用意してもらう

生まれた魔法の質問に答え合う事前準備（質問を転記）をする

ファシリテーターが生まれた魔法の質問を読み上げて答えを伝え合う
1.質問を読み上げる
2.空欄に答えを書いてもらう（１分程度）
3.質問の答えを参加者が順番に伝える

最優秀質問（MVQ）を決めてもらう

しつもん読書会の感想を伝え合う
「今日の学びや気付き、感じたことは何ですか？」

○しつもん読書会開催終了後

開催報告をする（任意）
※集合写真の際に顔出しNGの方は、
顔を本で隠すか、外して頂くかで対応願います。
（FBグループ）しつもん読書会参加者
https://www.facebook.com/groups/shitsumonreadingcircle/

しつもん読書会専用サイトにてMVQの登録
（専用サイト）しつもん読書会
http://shitsumon-dokusyokai.com/

しつもん読書会参加者がFBを行っている場合
しつもん読書会参加者にFBグループへ招待
（FBグループ）しつもん読書会参加者
https://www.facebook.com/groups/shitsumonreadingcircle/

しつもん読書会　進行用台本

しつもん読書会の開催チャート（前半、後半パート）を見ながら進行できます。

［しつもん読書会　前半パート］

挨拶とファシリテーターの自己紹介

「みなさん、こんにちは。今日はしつもん読書会にお集まり頂き、ありがとうございます。
私は〇〇と申します。（初めましての方がいれば自己紹介）」

しつもん読書会とは？を伝える

「まず、しつもん読書会とは、質問を使った新しいスタイルの読書会です。
本を読む前に４つの質問に答え、本を読んだ後に４つの質問に答えることで、
本のエッセンスを短い時間で得ることができます。
本を事前に読まなくても、参加できるので 気軽に参加できるのも特徴です。
なので、あまり片意地張らず、リラックスした気持ちで望んでください。」

事前ワークシート、読書会ワークシートの確認

「皆さんのお手元に、事前ワークシートと読書会ワークシートがあることをご確認願います。
まずは事前ワークシートを使っていきますので、目の前に置いてください。
また、ワークシートに記入するのに筆記用具も必要ですので、ご用意願います。」
「１～８まで質問が記載されています。」
「まずは、事前ワークシート真ん中にある円の空欄に、今回の読書会で読み解いていく、
本のタイトル（テーマ）を書いてください。その下には本日の日付を書いてください。」

事前ワークシートの進め方を伝える

「書き終えましたら、ワークシートの進め方をご説明します。
私が１の質問を読み上げますので、皆さんはその下の空欄にその答えを書いてください。
答えを書く時間は１分間です。」
「書いた後に、書いた答えを一人ずつそのまま読み上げます。」
「全員が読み上げた後、次は２の質問を私が読み上げて、皆さんが答えを書いて、読み上げます。」
「その後、３の質問、４の質問と同じように繰り返していきます。」

しつもん読書会の３つのルールを伝える

「そして、しつもん読書会を進めるにあたって、ルールが３つあります。」
「1 つめは、「質問の答えは、どんな答えも正解」です。
あなたが質問に対して「これ書いても良いかな？」と思うことがあるかもしれませんが、
これから問いかける質問の答えは全て正解ですので、安心して書いてください。」
「2 つめは「質問の答えは出なくても正解」です。
質問の内容によっては、どうしても今すぐ出ない場合もあります。
もし答えが出なくても、その答えは空欄のままでも「答えが出ません」でも構いません。
すぐに答えを出すことより、常に自分に問いかけること、向き合うことが大切です。」
「3 つめは「答えは全て受け止める」です。
書いた答えを伝えてもらうんですが、その際に聞いている人は「それは違うよ」と
否定するのではなく、「それ、いいね」とどんな答えであっても心の中で受け止めて、
小さく拍手してください。」
「この３つのルールをぜひ心がけてみてください。」

事前ワークシート１の質問を読み上げる

「それでは、１の質問を読み上げますので、その下の空欄にその答えを書いてください。」
「質問は「本を読み終わったときに、どうなっていたいですか？」
それでは、その答えをどうぞ。」

〈参加者が答えを記入〉

１の質問を書いてある下の枠に答えを書いてもらう

※答えを記入する時間の目安は１分程度が良い。
ただし、１グループで行う時など、全体の書き具合が見える場合は、
全員が書き終えるタイミングを図っても構わない。

１の質問の答えを参加者が順番に伝え合う

「それでは、一人ずつ書いた答えを伝えて頂きます。最初ですので、
お伝えする時にお名前（呼ばれたい名前）を伝えてから、１の欄に書いた答えを
そのままメンバーに読み上げて伝えてください。
「一人ひとり発表が終わったら、聞いている人は小さく拍手してください。
それでは、どうぞ。」

〈参加者が答えを読み上げる〉

※発表の順番については基本的に自由。
最初の発表者から時計回り、もしくは反時計回りで進めるとスムーズに進行が可能。

2～4の質問を、上記1の質問の順序同様に進める

「はい、ありがとうございます。それでは、次の質問にいきます。
次の2の質問は「この本で著者が伝えたいことは何だと思いますか？」
まだ本を読む前ですので、全くの想像でかまいません。
こんなことを伝えたいのでは？と思ったことを、2の空欄に書いてみてください。
どんな答えであっても正解です。それでは、どうぞ。」

〈参加者が答えを記入〉

「それでは、一人ずつ2の欄に書いた答えをそのまま読み上げて伝えてください。どうぞ。」

〈参加者が答えを読み上げる〉

「はい、ありがとうございます。それでは、次の質問にいきます。
次の3の質問は「この本に質問を3つ投げかけるとしたら何ですか？」
これから読む本に対して、自分が知りたいことは何か？
それを3つ、3の空欄に書いてみてください。それでは、どうぞ。」

〈参加者が答えを記入〉

※3つ書けない場合は、以下のことを伝えてみる。
「どうしても3つ書けない場合は、2つでも1つでも書けなくても構いません。」

「それでは、一人ずつ3の欄に書いた答えをそのまま読み上げて伝えてください。どうぞ。」

〈参加者が答えを読み上げる〉

「はい、ありがとうございます。それでは、次の質問にいきます。
次の4の質問は「なぜ、この本がここにあると思いますか？」
この本が、今ここに存在している理由です。
その答えを4の空欄に書いてみてください。それでは、どうぞ。」

〈参加者が答えを記入〉

「それでは、一人ずつ4の欄に書いた答えをそのまま読み上げて伝えてください。どうぞ。」

〈参加者が答えを読み上げる〉

読書タイム（3～5分程度）

「はい、ありがとうございます。それでは、ここで読書時間を取ります。」

「読書時間は５分です。」

※読書時間はおおよそ３～５分位を目安にして構わない。

「ここで、５分で読み解くポイント２つお伝えします。」

「１つめは、「順番に読まずにパラパラめくる」ことです。」

※実際に本をパラパラめくってみると分かりやすい。

「そして、パラパラめくっていく中で、目に止まったキーワードを
５の質問「どんなキーワードが目に止まりましたか？」の欄に、
単語で構いませんので、記入していきます。」

「２つめは、「本を読む前の質問の答えを意識する」ことです。
本を読む前の質問は、自分がその本に対して得たいエッセンスに対して
敏感に目に止まるようになっています。
なので、それを最初にチラッと見るだけで良いです。
そしてパラパラめくると、よりキーワードが目に止まりやすくなります。
最初にチラッと見るだけで良いので、ぜひやってみてください。」

「それでは、読書タイムに入ります。どうぞ。」

〈参加者が読書を行う〉

５の質問の答えを参加者が順番に伝え合う

「はい、そろそろお時間ですので、読書を終了してください。」
「それでは、書いて頂いた５の質問の答え、キーワードを書いたままで構いません。
もし、たくさん書いてしまっている方がいましたら、その中から特に気になった
ベスト５個に絞り、一人ずつ読み上げて伝えてください。どうぞ。」

〈参加者が答えを読み上げる〉

６～７の質問を、１の質問の順序同様に進める

「はい、ありがとうございます。それでは、次の質問にいきます。
次の６の質問は「どんなメッセージを投げかけていますか？」
この質問は、今読んだ本が自分に対して、どんなメッセージを投げかけているか？
という視点で、６の空欄に書いてみてください。
５の質問の答えを踏まえても構いません。それでは、どうぞ。」

〈参加者が答えを記入〉

「それでは、一人ずつ６の欄に記入したことをそのまま読み上げて伝えてください。どうぞ。」

〈参加者が答えを読み上げる〉

「はい、ありがとうございます。それでは、次の質問にいきます。
次の７の質問は「一言でいうと、どんな本ですか？」
ずばり、あなたなりにこの本を一言で言うと、どんな本でしょうか？
５の質問、６の質問の答えを踏まえても構いません。それでは、どうぞ。」

〈参加者が答えを記入〉

「それでは、一人ずつ７の欄に記入したことをそのまま読み上げて伝えてください。どうぞ。」

〈参加者が答えを読み上げる〉

事前ワークシート８の質問を読み上げる

「はい、ありがとうございます。それでは、８つめの質問にいきます。
質問は「どんな魔法の質問が生まれましたか？」です。」

魔法の質問とは？を伝える

「ここで魔法の質問という言葉が出ました。」
「魔法の質問とは、その質問に答えることで気付きや発見がある質問のことをいいます。」
「その質問に答えることによって、この本についてより深く考えることができる、
深く学ぶことができる、体験することができるという質問です。
質問の中には、疑問やクイズがあります。疑問やクイズには正解があります。
ですが、そうではない質問を作ってみましょう。」
※ここで「こんな質問が魔法の質問です」と質問の例を伝えると伝わりやすい。
しつもん読書会サイト内の魔法の質問、過去の最優秀質問など。
http://shitsumon-dokusyokai.com/
「６の質問「どんなメッセージを投げかけていますか？」の答えを基に
質問に変えてみるのも良いと思います。」
「うまくできなくても構いません。まずは作ることが大切です。それでは、どうぞ。」
〈魔法の質問を作ってもらう〉

８の質問の答えを参加者が順番に伝え合う

「それでは、書いて頂いた魔法の質問を一人ずつ読み上げて伝えてください。どうぞ。」

〈参加者が答えを読み上げる〉

「はい、ありがとうございます。いかがでしたか？

ここまでが「本のエッセンスを読み解く」パートとなります。」

※時間に余裕がある時、もしくは前半のパートのみで終わる時
ここまでの感じたことを伝え合う（シェアする）

「ここまで実際に体験して、思ったことや感じたこと、何でも構いません。

書かなくても良いので、参加者の皆さんで自由に伝え合ってみてください。」

〈参加者のシェア〉

※通常は後半のパートへ進める際には、この参加者のシェアを飛ばしても構わない。

［しつもん読書会　後半パート］

読書会ワークシートを用意してもらう

「それでは、後半のパート「生まれた魔法の質問に答え合う」パートに入ります。」

「最初にお渡ししました、空欄の読書会ワークシートをこれから使いますので、
お手元に出してください。」

「そして、読書会ワークシート真ん中の円の上部に、事前ワークシート同様、
今回のしつもん読書会で読み解いていく本のタイトル（テーマ）と、
その下に、本日の日付を書いてください。」

生まれた魔法の質問に答え合う事前準備をする

「ここから何をするかと言いますと、今生まれた魔法の質問に答えて伝え合う、
ということを行っていきます。」

「まずは事前準備を行います。事前ワークシート８の質問で生まれた
（〇〇名）分の魔法の質問があります。
その魔法の質問を読書会ワークシートへそのまま書き写していきます。」

「先ほどの８の質問に答えて頂いた発表順で、
最初の発表者が、８の質問に書いて頂いた質問を読み上げます。」

「聞いているメンバーは、当日ワークシートの１の質問の番号の横かすぐ下に、
発表者の質問をそのまま書き写していきます。その際、発表している人も同じく、
ご自身の当日ワークシートの１の番号の横かすぐ下に、読み上げた質問を
そのまま書き写してしてください。」

〈発表者の魔法の質問を書き写す〉

※発表者が書いてもらった事前ワークシートを見せて、書き写してもらうのも良い。

※ファシリテーターも同様に書き写してしておくと、
その先の質問の読み上げがスムーズに行きやすい。

「メンバー全員書き写しましたか？
書き写しましたら、次の発表者が、８の質問にお書き頂いた魔法の質問を読み上げて、
読書会ワークシート２の欄へ先程と同様にそのまま書き写していきます。」

〈生まれた魔法の質問発表→参加者分の質問書き写しをくり返す〉

※特に初心者は疑問になることも多いが、それはその時浮かんだ魔法の質問として
受け止める。

※参加者同士で、同じような魔法の質問が浮かぶこともあるが、そのまま書き写し、
答えが同じになっても受け止める。

ファシリテーターが生まれた魔法の質問を読み上げて答えを伝え合う

「これで事前準備が終わりました。」
それでは、私が事前ワークシートの時と同様に、１の質問を読み上げますので、
皆さんはその下の空欄にその答えを書いてください。
「１の質問は「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（参加者の生まれた魔法の質問）です。」
「それでは、その答えをどうぞ。」

〈参加者が答えを記入〉

「それでは、一人ずつ１の欄に記入したことをそのまま読み上げて伝えてください。どうぞ。」

〈参加者が答えを読み上げる〉

「はい、ありがとうございます。それでは、次の質問にいきます。」

〈生まれた魔法の質問を読み上げ→答えを記入→答えの読み上げを参加者分くり返す〉

「はい、ありがとうございます。いかがでしたか？
似たような質問や全く違った視点の質問もあったかと思います。」

最優秀質問（MVQ）を決めてもらう

「それでは、今回のしつもん読書会で最も優秀な魔法の質問、
略して「MVQ」を決めていきます。」
「まずは皆さん、それぞれ今日の発表された質問の中で「一番良かった、心に響いた」と
思った質問を１つ、心の中で決めてください。」
「決まりましたら、「せ～の」で合図を送りますので、一斉に一番良かった質問の発表者を
指さしてください。もし同数でしたら、メンバー内で決戦投票を行うなり、
話し合いで決めていきましょう。」
「それではいきます。せ～の！」

〈参加者の MVQ が決定する〉

「はい、ありがとうございます。ここまでが「魔法の質問に答え合う」パートでした。」

しつもん読書会の感想を伝え合う

「では最後にもう１つ、質問しますので、その答えを読書会ワークシート真ん中の
円の空欄、または空いているところでも書いてみてください。」
「質問は「質問に答えてみてどう感じましたか？」です。」
「気づいたことや得たこと、感想など何でもいいので、ご自由に書いてみてください。」
「それでは、どうぞ。」

〈参加者が答えを記入〉

「それでは、一人ずつ記入したことをそのまま読み上げて伝えてください。どうぞ。」

〈参加者が答えを発表〉

「はい、ありがとうございます。いかがでしたか？」
「しつもん読書会は、「短い時間でも本のエッセンスを吸収することができる」だけでなく、
集まってお互いに答えを伝え合うことで、今までになかった気付きや学びを
得ることができたかなと思っています。」
「また、答えを伝え合うことでグループの繋がりが少し深くなったのではないのでしょうか？
ぜひ、この機会にメンバー同士でも連絡を交換するなど、繋がってみてください。」
「あと、しつもん読書会のサイトがあります。そのサイトには、
本と共に質問が掲載されていますので、ぜひ一度ご覧になって頂けると嬉しいです。」
※しつもん読書会サイト http://shitsumon-dokusyokai.com/
「本日は本当にありがとうございました。」

発行
マツダミヒロ
ひらおたけし